令和３年度　枝光小学校便り

ひまわり

学力特集号

令和３年１２月１７日
北九州市立枝光小学校
校　長　吉村　恵子

令和3年度全国学力・学習状況調査の結果の報告と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和3年5月27日（木）に、6年生を対象として、「教科（国語，算数）に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

１．教科に関する調査結果の概要

教科・区分	学力調査の分析（傾向や特徴）
国語	○「書くこと」「言語」の領域は良好な状況にある。「読むこと」「話すこと・聞くこと」の領域に課題が残る。 ・「自分の主張が明確に伝わるように文章全体の構成」や「展開を考える問題」の正答率が高かった。 ・「目的を意識して中心となる語や文を見つけて要約する問題」や「目的や意図に応じ、資料を使って話す問題」に課題がある。
算数	○「数と計算」「図形」「測定」の領域は良好な状況にある。「データの活用」「変化と関係」の領域に課題が残る。 ・三角形の求め方についての理解が高い。 ・「速さを求める除法の式と商の意味理解」や「データを二次元の表に分類整理する問題」に課題がある。

２．学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要

質問紙調査の結果分析
○新型コロナウイルス感染症予防に伴う午前中のみの授業が続き、生活習慣はやや不規則になったが、家庭で計画的に学習を行うことができている。 ○仲間意識が強く、困っている人を進んで助けようとする意識が高い。 ○「人の役に立ちたい」と思っている児童が多く、友達と協力することに喜びを感じている。本校の研究主題である「互いの考えを認め合いながら、自他を大切にし、豊かな心を養う道徳科学習」の取組が児童の意識の中にも浸透しつつある。 ○新しい考えを生み出したり、自分の考えを発表したりすることを苦手としている児童の割合が高い。 ○失敗を恐れず挑戦することに対しても苦手意識を感じている。 ○読書量は少なくないが、新聞を読んでいる児童の割合が低い。

３．調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

①　教科に関する取組

○国語科や総合的な学習の時間に、新聞ワークやタブレットPCの活用、学校図書館の活用等を推進し、時事への関心を深めさせるとともに、語彙を増やし、社会事象等に対する自分の考えを持って話し合いに臨めるようにする。
○算数科は、学力定着サポートシステムの基礎・基本定着プリントを基本として、課題領域の学力定着を図る。
○朝自習の時間に担任外が週1回TTとして支援に入り、学力補充の強化を図る。

②　家庭生活習慣等に関する取組

○自主学習ノートコンテストの取組を継続していくことで、家庭での学習に対する意欲や学習の質が高められるようにする。保護者に対しても実施期間、応募方法、選考要領を知らせ、自主学習に対する理解と協力を求める。
○学校だよりや学年通信等を通じて、ニュース記事や地域の行事等に興味・関心を持つことができるように、家庭での話題を広げるための情報の提供を行い、保護者に協力を求める。